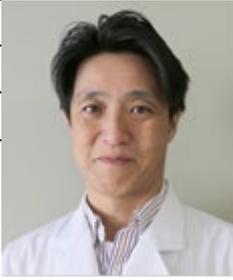


所属・職位	医学部先進医療科学科生命健康科学コース・講師	
氏名	内田 智久 (Uchida Tomohisa)	
取得学位	博士 (医学)、大分大学、2004年6月	
SDGs目標	 	

研究分野	病理学
研究キーワード	ヘリコバクター・ピロリ、アジアの疫学研究、胃がん
研究内容	<p>Helicobacter pylori (ピロリ菌)感染による慢性炎症の持続が胃がん発症に重要な役割を果たしている。アジアの胃がん発症率は国・地域によって大きな差があり、日本では胃がん発症率が高い一方で、インドネシア、タイでは胃がん発症率は本邦の1/10以下と非常に低い。アジアにおける胃がん発症頻度の差を明らかにするために、フィールドワークで得た生検組織、同時に採取した血清検体を解析することで、胃がんにつながる胃粘膜の病態解析を行い、胃がん発症頻度に差がある原因の解明をおこなっている。さらに、胃粘膜に感染しているピロリ菌病原遺伝子の解析を行い、アジアの胃がん発症率の多様性の原因を遺伝子的な側面から明らかにする研究をおこなっている。</p> <p>また、大分大学初の海外事務所の開設を主導し、開設後もバンコクを拠点に、東南アジア諸国連合 (ASEAN) 地域における人材交流拠点としての活用および共同研究やセミナーの開催教育研究活動のサポートなどを行っている。</p> <div style="text-align: center;">  <p>大分大学バンコクオフィスの活動</p> </div>
研究業績・アピールポイント	<ol style="list-style-type: none"> 1. Subsomwong, P., et al., Next-Generation Sequencing-Based Study of Helicobacter pylori Isolates from Myanmar and Their Susceptibility to Antibiotics. Microorganisms, 2022. 10(1). 2. Vilaichone, R.K., et al., Population-based study of Helicobacter pylori infection and antibiotic resistance in Bhutan. Int J Infect Dis, 2020. 97: p. 102-107. 4. Uchida, T., et al., Helicobacter pylori Infection in Thailand: A Nationwide Study of the CagA Phenotype. PLoS One, 2015. 10(9): p. e0136775. 5. Uchida, T., et al., Analysis of virulence factors of Helicobacter pylori isolated from a Vietnamese population. BMC Microbiol, 2009. 9(1): p. 175. 6. Uchida, T., et al., Immunohistochemical diagnosis of the cagA-gene genotype of Helicobacter pylori with anti-East Asian CagA-specific antibody. Cancer Sci, 2007. 98(4): p. 521-8.